

- ▶ 水巻町の地形は主に平野部が占めており、人口私有林が1ha程度と少なく森林経営可能な森林もないため、森林環境譲与税を主に木材利用に充てていく方針。
- ▶ 令和元年度においては、以下のとおり、木材公共建築物における木製品の導入を行った。
 - 森林環境譲与税を活用し、町の魅力を発信する水巻町周遊拠点施設「ICOTTO!MIZUMAKI」において木製屋台及びイベント用ツミキを導入することにより、施設の魅力をPRするとともに、広く町民が木と触れ合い、木の良さを理解してもらうための環境を作った。
 - 導入した木製品については、「即席マルシェ」などのイベントによる活用を図る。

□ 事業内容

ICOTTO!MIZUMAKIへのイベント備品導入事業

①即席マルシェ用の木製屋台の導入。

「即席マルシェ」をイメージさせる木製屋台を導入し、これまでのテント等に替わって活用して、広く木の良さや木との触れ合いを感じてもらうことで、木材利用の普及啓発を図る。

②ツミキプロジェクト用のツミキ導入。

ひとつひとつ職人が手作りの無垢材の積み木を参加者が自由な形に組み合わせることで立体的なモニュメントを作成することが出来る。木と触れあい、木の良さを知ってもらうための作成イベントを通じて人と町とのつながりが生まれる効果が期待できる。

【事業費】 1,000千円（うち譲与税1,000千円）

【実績】 木製屋台3台、ツミキ1式



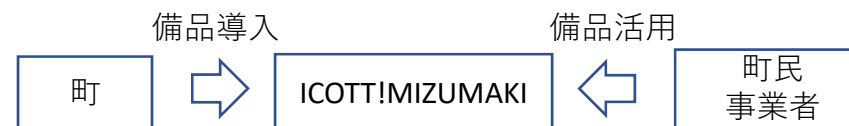
(①木製屋台)



(②ツミキ)

□ 事業スキーム

ICOTTO!MIZUMAKIへのイベント備品導入事業



□ 工夫・留意した点

- 町内の木製品制作グループと連携し、既製品よりデザイン性の高い木製品を活用することで、より発信力のある木材利用の普及啓発が可能となる。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	1,144千円
②私有林人工林面積（※1）	1ha
③林野率（※2）	9.7%
④人口（※3）	28,997人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より